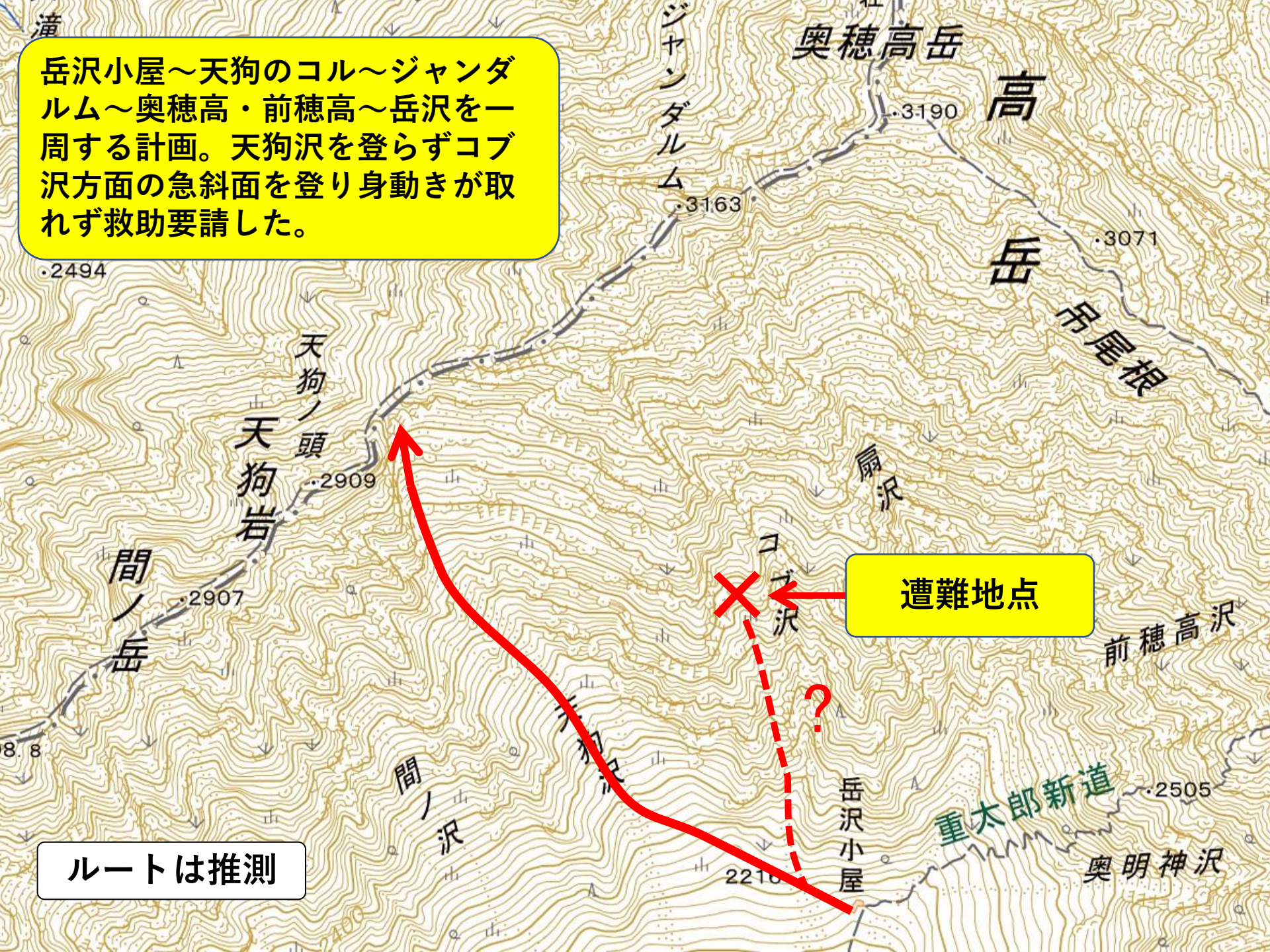


岳沢小屋～天狗の科尔～ジャンダ
ルム～奥穂高・前穂高～岳沢を一
周する計画。天狗沢を登らずコブ
沢方面の急斜面を登り身動きが取
れず救助要請した。

遭難地点

ルートは推測



なにをどう間違っ、どういう思考回路でこんなところへ行ったのか、ワケがわかりません。地図は持ってない？ヤマレコ・ヤママップ使ってない？地形、地名は頭に入っていないのか！？

張りっ放しのテントを見に行ったら、スポーツデポやアルペンのオリジナルブランドの安いテント…。警察はまだ登山靴を履いて、ヘルメットを被っていただけ、今年の遭難者の中ではマシな方と言ってたけど、どう考えても天狗沢～ジャンダルムに挑戦する資格の無い輩だろう。

警察での事情聴取を終え、テントを郵送で送ってくれないかと本人から電話が来たので、「こんなお粗末な遭難者にかける温情は無い、自分で回収に来るまで毎日2000円のキャンプ代を加算するからな」と言った私はひどい人間でしょうか？そして今日、小屋の掲示が一つ増えました。『今年に入って、岳沢を取り巻く山（前穂～奥穂～西穂）ではすでに8名の登山者が亡くなっております。（その他、怪我人等の救助者5名）』（HP参照）

2023年8月、西穂～奥穂高～白出沢～新穂高まで縦走した。見ていて大丈夫か？と思われる初心者も奥穂～ジャンの往復をしていた。ロバの耳や馬の背に鎖を付ければ、今以上に初心者が溢れかえり、死者が増えるのではという懸念がある。小屋の方のテント郵送のやり取りは、「あり」だと思う。常識を知らない初心者には常識を教える。それだけだと思う。